

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	東書	書名	NEW HORIZON English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar for Communication】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、絶滅のおそれのある動物について記事を書き、動物保護について話し合う学習活動が【Unit Activity】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、留学先で日本のポップカルチャーを紹介する学習活動が【日本のポップカルチャーの魅力を伝えよう】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力の「人権教育」]について、差別に対して非暴力で立ち向かった世界の偉人について取り上げた内容が『What makes a good leader?』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、国際協力についてのスピーチが『What does it mean to be a global citizen?』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、エシカルな商品について取り上げた内容が『How do you choose your clothes?』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各UnitがPreview、Part、Read and Thinkの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Stage Activity】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、世界に広がる日本語について話し合う学習活動が【Task 3】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【CAN DO CHECK Stage○】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本のポップカルチャーを取り上げた内容が『Unit Activity』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、経験したことを振り返って報告する学習活動が【Stage Activiy2】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、まとまりのある英文を書くためのパラグラフライティングの書き方が『学び方コーナー』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、資料から読み取った情報をまとめる学習活動が【Real Life English】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語の音と文字の関係についてまとめた表が『英語の音と文字』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Preveiw】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、英語雑誌に対する意見を投稿する場面の学習活動が【Real Life English】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Stage1】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、平和のために活動したガンディーについて取り上げた内容が『What makes a good leader?』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit0～10』、第2学年は『Unit0～7』、第3学年は『Unit1～6』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表する内容をまとめる【Activity Sheet】や、会話の動画、音声などを視聴する【Previewアニメ】などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	Sunshine English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【PROGRAM】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、カウンセラーになったつもりで、生徒の悩みのメモを取り、やり取りをする学習活動が【Action】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、海外からの観光客に対して、海辺でのポイ捨て防止を呼び掛ける看板を作る学習活動が【Action】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「人権教育」について、車いすバスケットボールを取り上げた内容が『Hot Sport Today』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「国際化」について、フェアトレードを取り上げた内容が『The Story of Chocolate』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、海洋ごみが生態系に及ぼす被害について取り上げた内容が『The Great Pacific Garbage Patch』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各PROGRAMがとびら、Scenes、Tuning in、Part、Review & Retell、Actionの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Our Project】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、環境問題について考える課題が【Action】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Our Project○】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の弁当文化を取り上げた内容が『Japanese Bentoes Are Interesting!』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、コーヒーショップを訪れた際に体験したことを振り返り自分の言葉で伝える学習活動が【Review & Retell】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スムーズなディスカッションを進めるための状況に応じた表現例が『Step for Our Project4』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、会話を聞いて、動物の平均睡眠時間を表すグラフからどの動物に当てはまるかを考える学習活動が【Tuning in】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語のつづり字と発音の関係に一定の決まりがあることをまとめた表が『英語のつづり字と発音』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【単語アプリ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、電車の乗り換えを案内する学習活動が【Power-Up①】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Get Ready】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、女子教育の権利向上を国連で訴えたマララさんを取り上げた内容が『Malala's Voice for the Future』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 中心となる単元名を『PROGRAM』と表記し、第1学年は『PROGRAM1～10』、第2学年は『PROGRAM1～8』、第3学年は『PROGRAM1～7』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、考えを整理して情報を書き込む【Action】や、会話の動画、音声などを視聴する【Tuning in】などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒から見やすくなるように配慮しています』『日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	NEW CROWN English Series 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Language Focus】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ウェブサイトに投稿された意見を読み、自分の考えを書く学習活動が【Goal Activity】に、設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、初めて日本に来る外国人に向けて旅行プランを考える学習活動が【Project 1】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権問題」について、アメリカの公民権運動を取り上げた内容が『Reading Lesson 2』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、外国語と関わりながら生活している人々の体験談を取り上げた内容が『私が外国語を学ぶわけ』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、コンサート会場の観客席に残されたごみを減らすための工夫が『Design for Change』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが、Part 1～3、Goal Activityの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連して、楽曲が与える影響について考える学習活動が【Small Talk Plus+】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【ふり返り】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の漫画やアニメについて取り上げた内容が『Translating Culture』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、外国語にふれたり、外国語を使ったりした経験を伝え合う学習活動が【Goal Activity】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校での学びを振り返り、高等学校での外国語学習につなげるメッセージが『For Self-study④』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、旅行会社のウェブサイトからツアーを選ぶ学習活動が【Take Action!】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語の音とスペルの関係等についての注意点が『Scene 2』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【とびら】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、電話で友人をコンサートに誘う学習活動が【Take Action!】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Starter】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、インドではどのような映画が作られているかについて取り上げた内容が『Bollywood Movies』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson1～9』、第2学年は『Lesson1～8』、第3学年は『Lesson1～8』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、作成したメモから自分が伝えたいことを書き込む【Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【Scene1】などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています』『みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	教出	書名	ONE WORLD English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、友人の悩み相談のメモをとり、アドバイスを伝える学習活動が【Project2】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、クラスメートからの相談に対してアドバイスをする学習活動が【If I Were You...】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「人権問題」について、貧困や強制労働などに対して行動を起こしたカナダの少年の活動を取り上げた内容が『Speaking Out for a Better World』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「国際化」について、医師として働く傍らアフガニスタンで井戸や用水路の工事に携わった人物の活躍が『Lighting Up a Corner』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、宇宙旅行が進むにつれて課題となる宇宙ゴミについて取り上げた内容が『Space Tourism』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが扉ページ、Part、Task、Grammarの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Activities Plus】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連して、働く理由や家事分担について自分の考えや感想を発表する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、巻末のCAN-DORISTと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Lesson〇をふり返ろう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、京都で日本食をつくる仕事に携わるベトナム人を取り上げた内容が『Washoku, or Japanese Cuisine』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、登場人物の日本での体験を想像して会話する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、英単語のしくみを知って単語を覚える方法が『効果的な英語学習法』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、料理のレシピを読み取る学習活動が【Tips for Reading③】に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、基本的なつづりと発音の関係についてまとめた表が『つづりと発音』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Let's Use】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、空港の案内所で係員に目的地までの行き方をたずねる学習活動が【Useful Expressions①】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Springboard】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、人々と文化が相互に関わる多文化社会であるカナダを取り上げた内容が『Aya's Homestay in Vancouver』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson1～9』、第2学年は『Lesson1～9』、第3学年は『Lesson1～7』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、自分の考えを書き込んで整理する【思考ツール】や、会話の動画、音声などを視聴する【リーディング】などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	光村	書名	Here We Go! ENGLISH COURSE 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Active Grammar】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ジャイアントパンダに関する記事について話し合う学習活動が【Goal】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、卒業を前に感謝の手紙を送る学習活動が【Goal】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「人権教育」について、迫害されたユダヤ人のためにビザを発給した杉原千畝を取り上げた内容が『Visas for 6,000 Lives』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「国際化」について、世界をよりよくするために活躍する若者が『World Tour①』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、持続可能な社会の実現に向けた取組が『You Can Do It! ②』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各Unitが扉、Part、Goalの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【You Can Do It!】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、歴史と平和について考える学習活動が【Goal】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Goal 振り返り】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、京都と広島への修学旅行を取り上げた内容が『Our School Trip』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、3年間の思い出を伝える学習活動が【中学校3年間で振り返るスピーチをしよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、目標に向かって英語の学習を続けていく方法が『将来に向けた学び方』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、記事やグラフからジャイアントパンダの保護活動について読み取る学習活動が【Goal】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語のつづりと発音の関係についてまとめた内容が『音声のまとめ』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Eri and Kotaと学ぶ基本文】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、留守番電話に残された伝言を聞き返答する場面の学習活動が【Daily Life】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Be Friends】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、アメリカの作家が書いた物語の一部を取り上げた内容が『A Story from The Adventures of Tom Sawyer』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit1～8』、第2学年は『Unit1～8』、第3学年は『Unit1～8』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、英文を聞きその内容を基に書き込む【Listen】や、会話の動画、音声などを視聴する【QR音声】などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン/特別支援教育/学習のユニバーサルデザイン』『日本語の文には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	BLUE SKY English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Focus on Form】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ALTにインタビューして記事にまとめる学習活動が【Project1】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、海外の姉妹校から来たメールに対して返事をする学習活動が【修学旅行について説明しよう】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「人権教育」について、ピクトグラムなどにも使われているユニバーサルデザインを取り上げた内容が『Society for All』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「国際化」について、NPOやスポーツを通して世界で活躍する人物が『Working in the World』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、気候変動やその原因と対応策が『Take Action on Climate Change』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各Unitがとびら、Part、Think&Speak/Writeの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連して、だまし絵について考える学習活動が【「だまし絵」の歴史】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Check】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、創作和菓子を取り上げた内容が『My Aunt』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、動物や植物を育てた体験を発表する学習活動が【動物や植物を育てた体験を発表しよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、英文を書く際の視点が『英語の学び方③』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、シンガポールの民族構成などについて説明文やグラフから読み取る学習活動が【Read & Think】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語の音声聞き取る注意点が『Part1～3』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Words 音声】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、購入品の欠陥を店頭で伝える学習活動が【Let's Talk①】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Start】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、海外の文化に触れる文学作品が『The Wizard of Oz』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit1～10』、第2学年は『Unit1～8』、第3学年は『Unit1～6』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表に向けて情報を整理する【Think & Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【本文アニメーション】などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《外国語(英語)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar for Communication】に設定されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【PROGRAM】に設定されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Language Focus】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar】に設定されている。
光村	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Active Grammar】に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Focus on Form】に設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、冬休みに友達をしたことを聞き、書いてまとめる学習活動が【Unit Activity】、第2学年では、交流授業でカナダの生徒からのビデオレターを視聴して、一番好きな日本食を紹介する話し合う学習活動が【Stage Activity】に、第3学年では、絶滅のおそれのある動物について記事を書き、動物保護について話し合う学習活動が【Unit Activity】に設定されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、エミリーが考えた動物園の提案を読み、自分の考えたオリジナルの企画をペアで発表する学習活動が【Action】に、第2学年では、相談者からの悩みを読み、内容を整理しながら自分のアドバイスを発表する学習活動が【Action】に、第3学年では、カウンセラーになったつもりで、生徒の悩みのメモを取り、やり取りをする学習活動が【Action】に設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、アメリカの学校紹介をするメールを読んで、返信メールを書く学習活動が【Goal Activity】に、第2学年では、ウェブマガジンの掲載記事を読み、記事についてもっと知りたいことを質問する学習活動が【Goal Activity】に、第3学年では、ウェブサイトに掲載された意見を読み、自分の考えを書く学習活動が【Goal Activity】に、設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、ユミが考えたオリジナルの標識について聞き取ったことを参考に、自分で考えた標識について発表をする学習活動が【Project 2】に、第2学年では、夢の旅行についての発表を聞き、自分が行ってみたい名所を理由とともに発表する学習活動が【Project 2】に、第3学年では、友人の悩み相談のメモをとり、アドバイスを伝える学習活動が【Project 2】に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、ALTの行きたい場所ややりたいことをインタビューして、ALTのために観光プランを発表する学習活動が【Goal】に、第2学年では、ラジオニュースを聞いて、その内容を自分の言葉で説明する学習活動が【Daily Life Scene 2】に、第3学年では、ジャイアントパンダに関する記事について話し合う学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、クラスメートの自己紹介を聞いて、メモを取る学習活動が【Project 1】に、第2学年では、制服が必要かどうかについてのディスカッションを聞き、自分の意見を理由とともに述べる学習活動が【Project 3】、第3学年では、ALTにインタビューして記事にまとめる学習活動が【Project 1】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、クラスメートに向けた友達紹介をする学習活動が【友達紹介のスピーチをしよう】に、第2学年では、姉妹都市からホームステイで来る生徒に向けて日本について知らせる学習活動が【日本の伝統やマナーを伝えよう】に、第3学年では、留学先で日本のポップカルチャーを紹介する学習活動が【日本のポップカルチャーの魅力を伝えよう】に設定されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、来校者に校内を案内する学習活動が【学校案内をしよう】に、第2学年では、悩み相談室で、来室された人の悩みに対し、アドバイスをする学習活動が【Action】に、第3学年では、海外からの観光客に対して、海辺でのポイ捨て防止を呼び掛ける看板を作る学習活動が【Action】に設定されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、日本に興味のある外国人にオンラインで日本のことを伝える学習活動が【Speak】に、第2学年では、海外からの修学旅行生のために、日本の食べ物をランキングにして紹介する学習活動が【Project 2】に、第3学年では、初めて日本に来る外国人に向けて旅行プランを考える学習活動が【Project 1】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、お気に入りの人物をクラスで紹介する学習活動が【My Favorite Person】に、第2学年では、海外の友好校の生徒に日本文化を紹介する学習活動が【Let's Introduce Japanese Culture】に、第3学年では、クラスメートからの相談に対してアドバイスを学習活動が【If I Were You...】に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、ALTに自分のことを伝える自己紹介カードを作る学習活動が【Goal】に、第2学年では、相手に用件や気持ちを伝えるためのE-mailを書く学習活動が【Goal】に、第3学年では、卒業を前に手紙を送る学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、初めて会うALTに自己紹介をする学習活動が【自己紹介をしよう】に、第2学年では、オーストラリアの姉妹校に日本文化を紹介する学習活動が【Sharing Japanese Culture with the World】に、第3学年では、海外の姉妹校から来たメールに対して返事をする学習活動が【修学旅行について説明しよう】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、アフリカの教育や飲料水についての問題を取り上げた内容が『Think Globally, Act Locally』に、第2学年では、誰もが暮らしやすい社会について、ユニバーサルデザインなどを取り上げた内容が『What design is good for everyone?』に、第3学年では、差別に対して非暴力で立ち向かった世界の偉人が『What makes a good leader?』に掲載されている。
開隆堂	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、毎日何時間もかけて学校に通う子どもたちを取り上げた内容が『The Way to School』に、第2学年では、遭難した船を助けたことから始まる友好関係を取り上げた内容が『Friendship beyond Time and Borders』に、第3学年では、車いすバスケットボールを取り上げた内容が『Hot Sport Today』に掲載されている。
三省堂	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、車いすバスケットボールの体験会について取り上げた内容が『Athletes with Spirit』に、第2学年では、オーストラリアの先住民アナンダ族について取り上げた内容が『Visiting Australia』に、第3学年では、アメリカの公民権運動を取り上げた内容が『Reading Lesson 2』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、世界中から訪れる観光客に向けたピクトグラムについて取り上げた内容が『Symbols and Signs』に、第2学年では、盲導犬や聴導犬について取り上げた内容が『Assistance Dogs』に、第3学年では、貧困や強制労働などに対して行動を起こしたカナダの少年の活動を取り上げた内容が『Speaking Out for a Better World』に掲載されている。
光村	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では車椅子アスリートについて取り上げた内容が『Hi, David!』に、第2学年では、盲導犬について取り上げた内容が『Guide Dogs』に、第3学年では、迫害されたユダヤ人のためにビザを発給した杉原千敏を取り上げた内容が『Visas for 6,000 Lives』に掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、海外からの転入生に話しかけるシーンのある内容が『Hello, New Friend.』に、第2学年では、食の多様性について取り上げた内容が『Food Diversity』に、第3学年では、ピクトグラムなどにも使われているユニバーサルデザインを取り上げた内容が『Society for All』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、世界や地域の問題が『Think Globally, Act Locally』に、第2学年では、世界遺産が抱える問題について取り上げた内容が『What are World Heritage sites and their Problems?』に、第3学年では、国際協力についてのスピーチが『What does it mean to be a global citizen?』に掲載されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、きつねうどんなどの日本食を説明する内容が『Let's Enjoy Japanese Food』に、第2学年では、アフリカで野球を広めている日本人が『Koshien Project in Africa』に、第3学年では、フェアトレードを取り上げた内容が『The Story of Chocolate』に掲載されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、世界各地の子どもの学校生活紹介が『School Lives around the World』に、第2学年では、落語を通して日本文化を伝える人物が『Rakugo Goes Overseas』に、第3学年では、外国語と関わりながら生活している人々の体験談を取り上げた内容が『私が外国語を学ぶわけ』に掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「国際化」について、1学年では、日本とオーストラリアの学校の生徒の過ごし方が『School Life in Two Countries』に、2学年では、世界各国の手話とジェスチャーを扱う際の留意点が、『Gestures and Sign Language』に、第3学年では、医師として働く傍らアフガニスタンで井戸や用水路の工事に携わった人物の活躍が『Lighting Up a Corner』に掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、アメリカの学校生活が『Hi, David!』に、第2学年では、世界で活躍する人達が『World Tour②』に、第3学年では、世界をよりよくするために活躍する若者が『World Tour①』に掲載されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、ハワイの時間や季節が『A Fascinating Island in Hawaii』に、第2学年では、シンガポールへの家族旅行が『Visiting Singapore』に、第3学年では、NPOやスポーツを通して世界で活躍する人物が『Working in the World』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、水質汚染のために安全な水を求める場面が『Think Globally, Act Locally』に、第2学年では、世界遺産のタージマールの大気汚染が『What are World Heritage sites and their Problems?』に、第3学年では、エコな商品について取り上げた内容が『How do you choose your clothes?』に掲載されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、オーストラリアのサンゴ礁が『Research in Australia』に、第2学年では、カナダ政府が自然を保護するためにつくったハイキングのルールが『Research on Australia』に、第3学年では、海洋ごみが生態系に及ぼす被害について取り上げた内容が『The Great Pacific Garbage Patch』に掲載されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、日本の自然の美しさが『Discover Japan』に、第2学年では、身近な環境問題が『Safe Clean Water』に、第3学年では、コンサート会場の観客席に残されたごみを減らすための工夫が『Design for Change』に掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、リサイクルボックスが『A Better World for Everybody』に、第2学年では、地球温暖化や再生可能エネルギーが『Energy Sources for Our Future』に、第3学年では、宇宙旅行が進むにつれて課題となる宇宙ゴミについて取り上げた内容が『Space Tourism』に掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、夏休みにしたいこととして自然の中で過ごすことが『Enjoy the Summer』に、第2学年では、シンガポールのスーパーツリーが『Tour in Singapore』に、第3学年では、持続可能な社会の実現に向けた取組が『You Can Do It!②』に掲載されている。
啓林館	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、増える海洋プラスチックによって被害を受ける海洋生物が『Plastic Waste』に、第2学年では、世界遺産の抱える問題が、『World Heritage Sites』に、第3学年では、気候変動やその原因と対応策が『Take Action on Climate Change』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、各UnitがPreview、Part、Read and Thinkの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Stage Activity】に設定されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、各PROGRAMがとびら、Scenes、Tuning in、Part、Review & Retell、Actionの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Our Project】に設定されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが、Part 1～3、Goal Activityの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが扉ページ、Part、Task、Grammarの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Activities Plus】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、各Unitが扉、Part、Goalの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【You Can Do It!】に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、各Unitがとびら、Part、Think&Speak/Writeの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、国語科と関連して、物語の文章構成を意識して聞く学習活動が【Task 2】に、第2学年では、技術科と関連して、複数の場面で活躍するロボットについて話し合う学習活動が【Task 1】に、第3学年では、国語科と関連して、世界に広がる日本語について話し合う活動が【Task 3】に設定されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では家庭科と関連して、日本食について考える活動が【Review】に、第2学年では、理科と関連して、省エネについて考える活動が【Action】に、第3学年では、社会科と関連して、環境問題について考える課題が【Action】に設定されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、国語と関連して日本の昔話を考える学習活動が【日本の「昔話」の紙芝居】に、第2学年では、国語科と関連して落語について考える学習活動が【Rakugo Goes Overseas】に、第3学年では、音楽科と関連して、楽曲が与える影響について考える学習活動が【Small Talk Plus+】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、社会と関連して記号や標識が表す意味を考える学習活動が【Task】に、第2学年では、美術と関連して、身の回りの便利なデザインを探して発表する学習活動が【Task】に、第3学年では、家庭科と関連して、働く理由や家事分担について自分の考えや感想を発表する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、国語科と関連して、日本語と英語の違いについて考える学習活動が【Let's Read More】に、第2学年では、美術科と関連して、ルーブル美術館のオンラインツアーの情報を聞き取る活動が【Daily Life】に、第3学年では、社会科と関連して、歴史と平和について考える学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、社会科と関連して、時差について考える学習活動が【ハワイの時間】に、第2学年では、理科と関連して、天気予報の情報を聞き取る学習活動が【Let's Listen】に、第3学年では、美術科と関連して、だまし絵について考える学習活動が【「だまし絵」の歴史】に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、巻末のCAN-D0リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【CAN DO CHECK Stage○】に設定されている。
開隆堂	言語能力の育成について、巻末のCAN-D0リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Our Project○】に設定されている。
三省堂	言語能力の育成について、巻末のCAN-D0リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【ふり返り】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、巻末のCAN-D0リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Lesson○をふり返ろう】に設定されている。
光村	言語能力の育成について、巻末のCAN-D0リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Goal ふり返り】に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、巻末のCAN-D0リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Check】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、ロンドン出身の登場人物が日本で過ごす年越しの思い出について書いたレポートが『Read and Think』に、第2学年では、海外の人に向けて作成した日本の世界遺産についてのページが『Unit Activity』に、第3学年では、日本のポップカルチャーを取り上げた内容が『Unit Activity』に掲載されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本の食文化を取り上げた内容が『Let's Enjoy Japanese Food』に、第2学年では、日本と外国の屋台料理を取り上げた内容が『Taste of Culture』に、第3学年では、日本の弁当文化を取り上げた内容が『Japanese Bentoes Are Interesting!』に掲載されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、沖縄で語り継がれている物語が『Sleepy Lord Thunder』に、第2学年では、使用人と和尚の掛け合いが描かれた狂言が『A Pot of Poison』に、第3学年では、日本の漫画やアニメについて取り上げた内容が『Translating Culture』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本とオーストラリアの学校の生徒の過ごし方を取り上げた内容が『School Life in Two Countries』に、第2学年では、日本の伝統文化を紹介した資料が『Attractive Japanese Cultures』に、第3学年では、京都で日本食をつくる仕事に携わるベトナム人を取り上げた内容が『Washoku, or Japanese Cuisine』に掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本の年末年始の過ごし方を取り上げた内容が『The New Year in Japan』に、第2学年では、日本で生まれた食品サンプルの変化と進化を取り上げた内容が『Plastic Food Samples』に、第3学年では、京都と広島への修学旅行を取り上げた内容が『Our School Trip』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、創作和菓子を取り上げた内容が『My Aunt』に、第2学年では、日本のお祭りを紹介するスピーチを取り上げた内容が『Festivals in the World』に、第3学年では、3Dアートやだまし絵について取り上げた内容が『Trick Your Eyes with Art』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、思い出に残った出来事を発表する学習活動が【Stage Activiy 3】に、第2学年では、自分の学校や学校生活について説明する学習活動が【Stage Activiy 2】に、第3学年では、経験したことを振り返って報告する学習活動が【Stage Activiy 2】に設定されている。
開隆堂	体験活動の充実について、第1学年では、週末に行ったことを交換日記で伝える学習活動が【Action】に、第2学年では、海外でヒットするラーメンCM作りの学習活動が【Our Project4】に、第3学年では、コーヒージュップを訪れた際に体験したことを振り返り自分の言葉で伝える学習活動が【Review & Retell】に設定されている。
三省堂	体験活動の充実について、第1学年では、日本の学校生活や行事を紹介する学習活動が【Goal Activity】に、第2学年では、オンラインツアーを体験した後、海外から自分の町へ来る旅行者向けに町の魅力を伝える動画を作る学習活動が【Goal Activity】に、第3学年では外国語にふれたり、外国語を使ったりした経験を伝え合う学習活動が【Goal Activity】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、登場人物が印象に残ったことを日記に書く学習活動が【Think & Try!】に、第2学年では、登場人物が職場体験を通して体験したことについて会話を続ける学習活動が【Think & Try!】に、第3学年では、登場人物の日本での体験を想像して会話する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。
光村	体験活動の充実について、第1学年では、冬休みの様子を手紙に書いて伝える学習活動が【冬休みの様子をはがきで伝えよう】に、第2学年では、身近な出来事や気づきを振り返って日記に書く学習活動が【日記を書こう】、第3学年では、3年間の思い出を伝える学習活動が【中学校3年間をふり返るスピーチをしよう】に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第1学年では、学校行事をホームページで紹介する記事を書く学習活動が【学校行事を紹介しよう】に、第2学年では、海外の姉妹校に学校を紹介するビデオメッセージを作成する学習活動が【学校のルールを紹介しよう】に、第3学年では、動物や植物を育てた体験を発表する学習活動が【動物や植物を育てた体験を発表しよう】に設定されている。

⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、辞書の活用の仕方が『学び方コーナー』に、第2学年では、目的・場面・状況を考えて相手の意図の理解の仕方が『学び方コーナー』に、第3学年では、まとまりのある英文を書くためのパラグラフライティングの書き方が『学び方コーナー』に掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、相手の話を聞くときに聞き手が注意するポイントが『Step for Our Project 4』に、第2学年では、会話表現などで使われる英語の略語の表す意味が『Step for Our Project 1』に、第3学年では、スムーズなディスカッションを進めるための状況に応じた表現例が『Step for Our Project 4』に掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、音読の際に、音のかたまり、リズムや強勢を意識することが『For Self-study④』に、第2学年では、リスニングの際に、音の脱落や同化などの変化のルールを知ることが『For Self-study③』に、第3学年では、中学校での学びを振り返り、高等学校での外国語学習につなげるメッセージが『For Self-study④』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、英文を聞いて書き取る学習方法が『効果的な英語学習法』に、第2学年では、英文の概要を把握する際の留意点が『Tips for Reading①』に、第3学年では、英単語のしくみを知って単語を覚える方法が『効果的な英語学習法』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、リスニングと連動した音読が『リスニングの学び方』に、第2学年では、主語と動詞を意識して読む方法が『家での学び方』に、第3学年では、目標に向かって英語の学習を続けていく方法が『将来に向けた学び方』に掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、英和辞典の引き方が『英語の学び方①』に、第2学年では、英語の力を伸長する音読の仕方が『英語の学び方③』に、第3学年では、英文を書く際の視点が『英語の学び方③』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第1学年では、時間割からその日の授業について尋ねあう学習活動が【Enjoy Communication】に、第2学年では、グラフからわかることをペアで話し合う学習活動が【Think and Express Yourself】に、第3学年では、資料から読み取った情報をまとめる学習活動が【Real Life English】に設定されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、第1学年では、学校生活の満足度についての音声とグラフを結びつける学習活動が【Information】に、第2学年では、世界の天気予報についての音声情報と表を活用する活動が【Scenes for Basic Dialogs】に、第3学年では、会話を聞いて、動物の平均睡眠時間を表すグラフからどの動物に当てはまるかを考える学習活動が【Tuning in】に設定されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、第1学年では、イベント案内の情報を参考に友達にイベントをすすめる学習活動が【Take Action!】に、第2学年では、スピーチやグラフから、世界の人々が飲み水をどこで手に入れているかを読み取る学習活動が【Scene 2】に、第3学年では、旅行会社のウェブサイトからツアーを選ぶ学習活動が【Take Action!】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、第1学年では、ウェブサイトから必要な情報を見つける学習活動が【Tips for Reading②】に、第2学年では、ポスターの情報を読み取る学習活動が【Tips for Reading②】に、第3学年では、料理のレシピを読み取る学習活動が【Tips for Reading③】に掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、第1学年では、イベントの案内を読み取る学習活動が【Daily Life】に、第2学年では、学校生活や家庭生活についてのアンケート結果を読み取る学習活動が【Listen】に、第3学年では、記事やグラフからジャイアントパンダの保護活動について読み取る学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第1学年では、イギリス料理の食べたいコースを選び相手に伝える学習活動が【Speak】に、第2学年では、シンガポールの民族構成などについて説明文やグラフから読み取る学習活動が【Read & Think】に、第3学年では、会話やグラフから気候変動について読み取る学習活動が【Part 1】に設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、アルファベットが表す音を確認する学習活動が【Sounds and Letters1】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音と文字の関係についてまとめた表が『英語の音と文字』に掲載されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、英文を正しく読むための学習活動が【発音クリニック】に設定されている。また、第2、3学年では、英語のつづり字と発音の関係に一定の決まりがあることをまとめた表が『英語のつづり字と発音』に掲載されている。
三省堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、英語の音と文字を確認する学習活動が【Starter 5】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音とスペルの関係等についての注意点が『Scene 2』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について第1学年では、音と文字をつなげる学習活動が【Springboard 5】に設定されている。また、第2、3学年では、基本的なつづり字と発音の関係について、まとめた表が『つづり字と発音』に掲載されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、音の違いに注意して声に出して読む学習活動が、【Check】に設定されている。また、第2、3学年では、英語のつづり字と発音の関係についてまとめた内容が『音声のまとめ』に掲載されている。
啓林館	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、文字の名前を聞きながら、文字をさす学習活動が【Let's Start】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音声を読み取る注意点が『Part 1～3』に掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Preview】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
開隆堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【単語アプリ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
三省堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【とびら】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Let's Use】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Eri and Kotaと学ぶ基本文】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Words音声】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、外国人に道を案内する場面の学習活動が【Real Life English】に、第2学年では、外国人旅行者から電車の乗り換え方法をたずねられる場面の学習活動が【Real Life English】に、第3学年では、英語雑誌に対する意見を投稿する場面の学習活動が【Real Life English】に設定されている。
開隆堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、オーストラリアのショッピングモールで買い物をする学習活動が【Power-Up④】に、第2学年では、友達に最近あった出来事をメールで報告する学習活動が【Power-Up④】に、第3学年では、電車の乗り換えを案内する学習活動が【Power-Up①】に設定されている。
三省堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では道に迷っている人に道案内をする場面の学習活動が【Take Action!】に、第2学年ではオンラインショップの商品を見て要望に適した商品を考える学習活動が【Take Action!】に、第3学年では、電話で友人をコンサートに誘う学習活動が【Take Action!】に設定されている。
教出	言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、新しく来たALTに対して校内を案内する学習活動が【Useful Expressions①】に、第2学年では飲食店で料理や飲み物を注文する場面の学習活動が【Useful Expressions②】に、第3学年では、空港の案内所で係員に目的地までの行き方をたずねる学習活動が【Useful Expressions①】に設定されている。
光村	言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、海外からの観光客に道をたずねられる場面の学習活動が【Daily Life】に、第2学年ではレストランで注文する学習活動が【Daily Life】に、第3学年では、留守番電話に残された伝言を聞き返答する場面の学習活動が【Daily Life】に設定されている。
啓林館	言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、ファストフード店で注文する場面の学習活動が【Let's Talk④】に、第2学年では、通りがかりの人から駅までの行き方を説明する学習活動が【Let's Talk③】に、第3学年では、購入品の欠陥を店頭で伝える学習活動が【Let's Talk①】に設定されている。
⑰ 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	小学校外国語活動と関連した構成について、第1学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Stage 1】に設定されている。また、第2、3学年では、小学校で学んだ単語が『Word List』に掲載されている。
開隆堂	小学校外国語活動と関連した構成について、第1学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Get Ready】に設定されている。また、第2、3学年では、小学校で学んだ単語が『単語と熟語』に掲載されている。
三省堂	小学校外国語活動と関連した構成について、第1学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Starter】に設定されている。第2、3学年では、小学校で学んだ単語が『資料』に掲載されている。
教出	小学校外国語活動と関連した構成について、第1学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Springboard】に設定されている。また、第2、3学年では、小学校で学んだ単語が『Word List』に掲載されている。
光村	小学校外国語活動と関連した構成について、第1学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Be Friends!】に設定されている。また、第2、3学年では、小学校で学んだ単語が『Word List』に掲載されている。
啓林館	小学校外国語活動と関連した構成について、第1学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Start】に設定されている。また、第2、3学年では、小学校で学んだ単語が『World List』に掲載されている。

⑮ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	国際理解を深めることについて、第1学年では、ニュージーランドの中学生とのオンラインでのやり取りを取り上げた内容が『Friends in New Zealand』に、第2学年では、ホームステイを通して海外の生活習慣や文化の体験を取り上げた内容が『What is important in a homestay』に、第3学年では、平和のために活動したガンディーについて取り上げた内容が『What makes a good leader?』に掲載されている。
開隆堂	国際理解を深めることについて、第1学年では、世界各地の中学生の通学の様子を取り上げた内容が『The Way to School』に、第2学年では、飛行中に事故に見舞われたアポロ13号の乗組員について取り上げた内容が『Apollo 13』に、第3学年では、女子教育の権利向上を国連で訴えたマララさんを取り上げた内容が『Malala's Voice for the Future』に掲載されている。
三省堂	国際理解を深めることについて、第1学年では、登場人物がアメリカの学校生活についてのやり取りの場面を取り上げた内容が『School Life in the U.S.A.』に、第2学年では、バーチャルツアーを通して世界の自然や食文化を取り上げた内容が『Online Experiences』に、3学年では、インドではどのような映画が作られているかについて取り上げた内容が『Bollywood Movies』に掲載されている。
教出	国際理解を深めることについて、第1学年では、海外の童話を取り上げた内容が『The Golden Dipper』に、第2学年では、海外の文化やチャリティ活動について取り上げた内容が『The Gift of Giving』に、第3学年では、人々と文化が相互に関わる多文化社会であるカナダを取り上げた内容が『Aya's Homestay in Vancouver』に掲載されている。
光村	国際理解を深めることについて、第1学年では、世界各国の屋台が集まるイベントで外国の食べ物を取り上げた内容が『Daily Life』に、第2学年では、ルーブル美術館のオンラインツアーの案内に世界の美術品が『Daily Life』に、第3学年では、アメリカの作家が書いた物語の一部を取り上げた内容が『A Story from The Adventures of Tom Sawyer』に掲載されている。
啓林館	国際理解を深めることについて、第1学年では、ニューヨークでの年越しを取り上げた『Winter Vacation in New York』に、第2学年では、海外の児童文学を取り上げた内容が『The Snowman』に、第3学年では、海外の文化に触れる文学作品が『The Wizard of Oz』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑯ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit0～10』、第2学年は『Unit0～7』、第3学年は『Unit1～6』で構成されている。
開隆堂	中心となる単元名を『PROGRAM』と表記し、第1学年は『PROGRAM1～10』、第2学年は『PROGRAM1～8』、第3学年は『PROGRAM1～7』で構成されている。
三省堂	中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson1～9』、第2学年は『Lesson1～8』、第3学年は『Lesson1～8』で構成されている。
教出	中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson1～9』、第2学年は『Lesson1～9』、第3学年は『Lesson1～7』で構成されている。
光村	中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit1～8』、第2学年は『Unit1～8』、第3学年は『Unit1～8』で構成されている。
啓林館	中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit1～10』、第2学年は『Unit1～8』、第3学年は『Unit1～6』で構成されている。
⑰ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表する内容をまとめる【Activity Sheet】や、会話の動画、音声などを視聴する【Previewアニメ】などが設定されている。
開隆堂	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、考えを整理して情報を書き込む【Action】や、会話の動画、音声などを視聴する【Tuning in】などが設定されている。
三省堂	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、作成したメモから自分が伝えたいことを書き込む【Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【Scene1】などが設定されている。
教出	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、自分の考えを書き込んで整理する【思考ツール】や、会話の動画、音声などを視聴する【リーディング】などが設定されている。
光村	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、英文を聞きその内容を基に書き込む【Listen】や、会話の動画、音声などを視聴する【QR音声】などが設定されている。
啓林館	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表に向けて情報を整理する【Think & Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【本文アニメーション】などが設定されている。

⑦ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒から見やすくなるように配慮しています』『日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。
三省堂	『カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています』『みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています』と表記されている。
光村	『全ページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン/特別支援教育/学習のユニバーサルデザイン』『日本語の文には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。
啓林館	『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第3学年 表紙の裏 (富嶽三十六景 神奈川沖浪裏)
開隆堂	第2学年 P90 『おすすめスポットのチラシを作しましょう』 (小田原城) 第3学年 P12 『駅弁って何?』 (神奈川牛肉弁当) 第3学年 P14 『Review&Retell Step1』 (神奈川牛肉弁当)
三省堂	第3学年 P8 『ケイトの悩みごと』 (江の島 写真)
教出	第1学年 P87 『Lunch in Chinatown』 (横浜中華街 写真) 第2学年 P74 『Castles and Canyons』 (鎌倉大仏) 第3学年 P33 『Useful Expressions 2』 (横浜、横浜中華街、山下公園、路線図)
光村	第1学年 P26 『All About Me』 I live in Yokohama. (自己紹介で横浜在住の表記) P80 『おすすめ観光プランを考えよう』 (Minato Mirai, Chinatownの表記) P108 『The New Year in Japan』 (年賀状の住所が神奈川県横浜市) 第2学年 P93 『Working Together』 (横浜ランドマークタワー 写真) 第3学年 P19 『Our School Trip』 (赤レンガ倉庫、ランドマークタワー 写真) P77 『The Chorus Contest』 (葛飾北斎 富嶽三十六景 Kanagawaの表記)
啓林館	第3学年 P90 『This is All About Me -Autobiography-』 (Step1 のPastにKanagawaの表記)

② 一冊ごとの重量 (g)				
	冊数	1年	2年	3年
東書	3	422	386	386
開隆堂	3	412	368	368
三省堂	3	420	388	388
教出	3	364	364	364
光村	3	394	388	390
啓林館	3	386	394	360